

公益社団法人日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部
平成30年度 第1回代議員会次第

日 時 : 平成30年5月13日(日) 14:30~15:30
場 所 : 東京グランドホテル 蘭・菊の間

1. 開会の辞 高森 等監事
2. 支部長挨拶 井汲 憲治 支部長
3. 議長選出:代居 敬先生 片山幸太郎先生
4. 議事録署名人選出
5. 確認事項
 - ① 指名点呼:小田 茂 総務委員長
 - ② 関東・甲信越支部 平成29年度 第2回代議員会議事録(資料1)
6. 報告事項
 - ① 支部現況報告:井汲憲治支部長
 - ② 日本口腔インプラント学会本会現況報告
塩田 真専務理事、宮崎 隆理事、築瀬 武史理事、矢島 安朝理事、
井汲 憲治理事、黒岩 茂理事、渡邊文彦理事長
 - ③ 次期支部選出理事ならびに次期支部長について(資料2)
小森規雄 選挙管理委員長
 - ④ 第37回関東・甲信越支部学術大会報告 大久保 力廣 大会長
 - ⑤ 第38回関東・甲信越支部学術大会進捗状況 矢島 安朝 大会長
 - ⑥ 第9回支部学術シンポジウム準備状況 築瀬 武史 大会長
 - ⑦ その他
7. 審議事項
 - ① 平成29年度事業報告書(案)について(資料3) 井汲 憲治 支部長
 - ② 平成29年度決算書(案)について (資料4) 樋口 大輔 財務委員長
 - ③ 第39回関東・甲信越支部学術大会の開催について 井汲 憲治 支部長
 - ④ 第10回支部学術シンポジウムの開催について 大久保 力廣 学術委員長
 - ⑤ その他
8. 閉会の辞 塩田 真 副支部長

平成29年度 第2回

公益社団法人 日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部

代議員会議事録（案）

日時 : 平成30年1月21日（日） 13:30~14:30
場所 : 東京グランドホテル 蘭の間
参加者 : 95名（出席者:69名、委任状提出:26名、オブザーバー 3名）

1. 開会の辞 井汲憲治支部長より開会の挨拶がなされた。
2. 渡邊文彦理事長より挨拶がなされた。タイ・インプラント学会との学術協定が結ばれたことが併せて報告された。
3. 議長選出 代居 敬先生、片山 幸太郎先生が選出された
4. 議事録署名人選出 議長一任となり、江黒 徹先生、山田 麻衣子先生が選出された
5. ①指名点呼 小田茂総務委員長より、代議員 105名中出席 69名、委任状提出 26名、計 95名の過半数となり代議員会が成立したことが報告された。
②関東・甲信越支部 平成29年度第1回代議員会議事録（資料1）が小田茂総務委員長より確認が行われた。議事録 P3 の国際誌が JSDR⇒IJID と訂正された。
6. 報告事項

- 1) 支部現況報告、ならびに今年度の支部活動実績と来年度の方針として、

井汲憲治支部長より、

現在関東甲信越支部の会員数が6,000名を超えているおり、全国最大の支部であること、今年度の実績として2017年8月6日に支部学術シンポジウムが東京医科歯科大学にて開催され盛会であったこと、来月2月11、12日支部学術大会が鶴見大学大久保大会長のもと開催予定であること、ITの活用を掲げ2017年6月にメール配信を試験的に実施し、次年度はさらに改良を重ねていきたいと考えていること、が報告された。

- 2) 日本口腔インプラント学会本会現況報告として

塩田真専務理事より

- (1) 支部会員数が1月15日現在で6,406名と増加していること、2020年第50回大会を節目の大会として、50周年記念事業として記念誌の発刊などの企画準備を開始したこと、
- (2) 総務委員会では、本部委員会構成のスリム化を検討中であること、
- (3) 学術委員会では、今年度よりケースプレゼンテーションを9月の総会・各術大会時に実施しないこと、
- (4) 試験委員会では、2018年1月6日に専門医試験、1月21日に専門衛生士試験を開催したこと
- (5) 国際誌IJIDがPubmed掲載となり、今後のIF取得も視野に入ってきている。投稿の協力をお願いしたいこと、
- (6) 医療社会保険委員会は、訪問診療でのインプラント・メンテナンスの保険診療点数化を目指して歯科医師会へ医療技術提案書を提出したが、今回採択されなかったこと、
- (7) 用語委員会は用語集の改訂作業をおこなっていること、
が報告された。

宮崎隆編集委員長より

- (1) 50周年記念誌発刊に向けて、宮崎隆委員長、相浦洲吉先生を中心に準備を進めており、特に学会創設時の資料などに関して等、今後会員に協力をお願いすることになること、
- (2) 国際誌は順調に進んでいる一方で、和文誌は年間の原著論文が10編程度しかない状況にあり、臨床報告をブラッシュアップさせ原著論文としてもうことにより、臨床系の原著論文を増やしていきたいと考えていること、臨床研究法が2018年4月より施行され、臨床研究へのハードルがより高くなるが、2月10日に歯科医学会・日本歯学系学会協議会合同で「国民に信頼される歯科臨床研究の推進を目指してー臨床研究法から考えるー」が開催予定であり、これらを受けて会員に情報提供する予定であること、が報告された。

築瀬武史財務委員長より

財務委員会では、3年前約1500万円、2年前約2000万円の赤字だったが、様々な改革を進められたことにより、昨年は160万円の黒字となったこと、

今年度も黒字を見込んでいること、委員会数・委員数の削減、ケースプレゼンテーションの実施方法、ペーパーレス化など支出のスリム化、見直しと並行して、今後学会費の値上げも検討していること、が報告された。

矢島安朝教育研修委員長より

- (1) 広告可能な専門医の取得を目指して、取得に必須となる学会としてのカリキュラムプランニング策定を目的に活動し、学会としての一般目標、行動目標が策定されたこと、今後各臨床施設におけるLS,形成的評価に関する策定をしていってほしいと考えており、学会で開催しているカリキュラムプランニングに関するWSなどを活用してほしいこと、
 - (2) 専修医が次年度初めて更新を迎えるため、更新に当たってはインプラント専門医臨床技術向上講習会の受講が必要であるが、まだ未受講が相当数いること、次年度は4回開催を予定しており、各施設での周知をお願いしたいこと、
- が報告された。

井汲憲治研究推進委員長より

研究推進委員会として、2年前に実施したアンケート結果をまとめたこと、今後も他の学会に負けないようなエビデンスの発信が必須であること、大久保力廣委員長を中心に訪問時のトラブルに関するポジションペーパーを今年度中に完成予定であること、和泉雄一副委員長が中心となって歯周病学会と共同でインプラント・メンテナンスに関する学会見解の策定を進めていること、また佐藤裕二副委員長を中心に、高齢者施設における実地調査を行っていること、が報告された。

黒岩茂表彰委員長より、

第47回学術大会での受賞者が決定したこと、表用制度規定を一部追記したこと、4月21日に平成30年度第1回表彰委員会が開催予定であること、が報告された。

高森等認定副委員長より、

専修医の更新は対象者が800名程になるため、受付を2-3回にわけて実施する予定であること、専門医を取得しているが専修医の更新を希望する場合は手続きが必要であること、が報告された。

追加として、渡邊文彦理事長より、

- (1) 2022年に創立50年になり、50周年記念事業として記念誌に日本におけるインプラントの歴史をしっかりと残すこと、
- (2) 広告できる専門医の取得に関して、平成21年に申請後大変歯がゆい思いをしていること、しかし様々なアプローチをしていること、医科での専門医制度が平成30年4月より実施されるため、歯科医学会としても4月までに何らかの方針を出したいと考えているとのことで、仮に第三者評価機構が設立されたら、本会が最初に評価されることになる。また、それ以外の方針が出されたとしても対応できるようにと考えていること、また、厚労省からは国民にわかりやすい専門医であることが望ましいとされており、顎顔面インプラント学会との足並みをそろえていくことなども必要になってくること、カリキュラムに関してどの臨床施設でも同じような研修が受けられること、臨床系施設、大学系施設両方あるという特色を生かしていければと考えていること、

が報告された。

藤井俊治認定委員会副委員長より、追加として

専修医の更新に関して、各研修施設でインプラント専門医臨床技術向上講習会に関する情報提供を早めに行ってほしいこと、専門医試験に関しても6月から8月に募集となるがプレゼンテーションの実施方法などが変更になるため注意してほしいこと、が報告された。

2) 第37回関東・甲信越支部学術大会に関して

大久保力廣大会長より、一般演題27演題、ポスター演題19演題の登録がされていること、懇親会は横浜駅の崎陽軒で開催予定であること、当日に向けて準備を進めているので奮って参加いただきたいこと、が報告された。

3) 第9回支部学術シンポジウムについて、築瀬武史大会長より、副大会長上田先生、小倉先生、実行委員長竹島先生、副実行委員長田村先生メンバーで、「集学的治療としてのインプラント治療を考える~若きインプラントロジストの取り組み」をメインテーマに7月22日日本歯科大学にて開催予定であること、今後各臨床施設へ実行委員の推薦をお願いする予定となっているので協力をお願いしたいこと、が報告された。

7. 審議事項

審議事項に関して拍手による採決で実施することが提案され承認された。

- ① 次期代議員(案)に関して、小森規雄選挙管理委員長より、現代議員 105 名の内訳は大学系 49 名（内研修施設所属 45 名）、臨床系 56 名（内研修施設所属 49 名、歯科衛生士・歯科技工士 2 名、地方枠 10 名）となっているが、今回本部から、①105 名⇒107 名へ増員、②臨床系に関して各県から最低 1 人選出されるように、③大学系、臨床系を同数とするように（大学系 53 名、臨床系 54 名）という指示があったこと、また支部として①新規臨床研修施設となった 2 施設より 1 名以上選出される必要があり、以上を踏まえて資料 2 の案を策定した。また、今後代議員数の決定に当たっては、代議員会への出席状況も考慮していく可能性があることも提案された。

上記の説明に対して、本来は選挙による選出が望ましいのではないかという質問があり、今後も選出方法に関しては検討していくこととなった。

以上に対して審議がなされ、承認された。

- ② 次期理事選出方法について、小森規雄選挙管理委員長より、理事への立候補に関する書面を郵送予定で有り、2 月初旬の期日までに立候補を希望するものは送付してほしいこと。その後、リスト化して対象者に投票用紙を配布し 2 月中に選挙を完了し、3 月に開票作業・結果開示の流れが提案され、承認された。
- ③ 平成 30 年度事業計画案に関して、小田総務委員長より資料に基づき説明があり、承認された。
- ④ 平成 30 年度予算案に関して、志賀財務副委員長より資料に基づき説明があり、承認された。

8. 塩田真副支部長より閉会の挨拶がなされた。

【選挙管理委員会からの報告事項】

- ① 次期理事候補者選出結果について（50音順・敬称略）
大学選出枠：大久保力廣・塩田真・宮崎隆・矢島安朝
臨床選出枠：井汲憲治・田中譲治・築瀬武史

- ② 次期支部長候補者選出について
井汲憲治先生を次期支部長候補者として報告致しました。

- ③ 次期代議員の交代について
池田貴之・成田達哉両先生に代わり荒木正夫・林誠両先生が代議員に就任

- ④ 代議員会への参加状況について
今回、引き続き代議員になられた代議員 83 名
前回の任期中に開催された代議員会が 5 回あり、平均 3.1 回
参加 0 が 5 名、1 回参加 12 名

監 査 報 告 書

公益社団法人 日本口腔インプラント学会 関東甲信越支部

井汲憲治 支部長 殿

公益社団法人日本口腔インプラント学会関東甲信越支部平成29年度事業報告書等に係る計算書類等について、関係書類とともにその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして正当であることを認めます。

平成 30 年 4 月 23 日

公益社団法人 日本口腔インプラント学会 関東甲信越支部

監事 渡沼 敏夫

渡沼 敏夫 

監事 高森 等

高森 等 